

国民年金保険料の納付は 便利でお得な「口座振替(前納)」で！



問 保険年金室 ☎(24) 8956 佐原年金事務所 ☎0478 (54) 1442

国 民年金保険料は前払いすると割引されてお得です。
現金やクレジットカードでも前納できますが、一番
割引額が多いのは口座振替です。口座振替なら納め忘れも
ありません。

＼2年間で最大 **16,590** 円割引／

毎月納付 ×2年間	現金	¥413,880
	口座	¥413,880
2年分を 前納	現金	¥398,590
	口座	¥397,290

▲納付額と割引額は令和6年4月現在の金額

▶申込方法

- ①金融機関(ゆうちょ銀行含む)で口座振替申出書を提出。
申込から振替開始までは2か月程度かかります
- ②マイナポータルからねんきんネットにログインして申込

▶申込期限

2月28日(金)

(4月から前納*で希望する場合)

※前納は2年・1年・6か月があります

▶持ち物

- ①基礎年金番号のわかるもの
(年金手帳、納付書など)
- ②金融機関の通帳と届出印



市長コラム111

【日本一のかっぱ! 大内元市長】

銚子市長 越川 信一

第5代銚子市長(昭和53年〜61年)や銚子信用金庫理事長などを歴任した大内恭平さんが12月27日、逝去された。政治家・経済人として活躍する一方、日本一のかっぱ収集家として知られ、平成12年に大内かっぱハウスをオープン。数千点のコレクションを展示し初代館長を務めた。

昭和33年の春、綾子夫人と新婚旅行で訪れた石廊崎の土産店がかっぱの置物と運命的に出会い、陽気でお茶目なかっぱとの深い縁を感じたという。その後、日本中、海外へと足を伸ばしてかっぱの地を訪ね、かっぱの書・絵画・石像・彫刻などを収集。銚子を舞台にした朝ドラ「濡つくし」が放映された昭和60年には、大内市長を村長、郷土史家の永澤謹吾さんを助役として「銚子かっぱ村」を発足

させた。後に私も入村し活動に参加させていただいた。利根川河口の大新河岸には、母と子のかっぱが住み、人びとを水難から守ってくれたという言い伝えがあり、平成7年に母子河童像(中央町)を建立。平成11年には「河童と水に愛をこめて!」をテーマに「川びたり」の行事を復活させ、賑やかに提灯行列が練り歩いた。かっぱと共生できる水辺環境づくりに取り組んだ。

「人の生命と健康を守ることが政治の原点」と訴えた大内市長の最大の公約は「銚子市立総合病院の建設」。医師確保など幾多の困難を乗り越え、昭和59年に銚子市立総合病院を誕生させた。ユニークな発想力、常にプラス思考で考えること、目標に向かって人一倍努力をすること、約束を必ず守ること、人に何と言われようと信念を貫くバイタリテイ、弱者・困っている方への温かさ・ぬくもり。大内市長は唯一無二のかっぱ、純真無垢な少年がっぱでもあったのだ。大内市長の志を受け継ぎながら市立病院の充実に全力で取り組み、郷土銚子を元気で温かいマチにしていきたいと思う。